

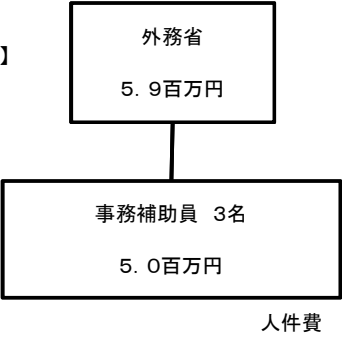
平成23年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	領事サービス改善関係経費		担当部局庁	領事局			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度			担当課室	領事サービス室			室長 森川 博文		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1 領事サービスの充実					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第10項及び第11項 外務省組織令第13条第7号及び第8号 外務省組織規則第46条		関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	一般国民からの証明及び戸籍国籍関係届書に関する各種照会や証明窓口への来訪者に対し、担当官は迅速かつ丁寧な対応を心掛けているが、多大な業務量の中、常時、こうした対応をしていくことは困難な状況となっている。このため、事務補助員3名を臨時雇用して一般国民からの各種照会や来訪者に迅速かつ丁寧に対応する体制を整備することを目的とするもの。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成22年度における本省における証明発給件数は、約60,000件。在外公館で受理された戸籍国籍関係届書を本省で再審査し、市区町村役場に送付している件数は、平成22年度約40,600件。証明窓口への1日の来訪者は、120名～150名(繁忙時は1日350名程度)。その他、証明や戸籍国籍関係届書を中心に月に約1600件の電話による照会がある。これに対し、証明班4名及び戸籍国籍班4名の外務省職員計8名で対応しているが、業務量が多いため迅速かつ丁寧な対応が困難な状況となっている。このため、証明班に2名、戸籍国籍班に1名の臨時職員を雇用し迅速かつ丁寧な対応の体制整備を図るもの。								
実施方法									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-			
		計	6	7	6	10			
	執行額		5	6	8				
	執行率(%)		93.17%	94.64%	141.72%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	一般国民からの証明及び戸籍・国籍関係届書に関する各種照会や証明窓口への来訪者に対する迅速かつ丁寧な対応に努め、領事サービスの向上を推進する。(参考指標:証明発給件数)		成果実績	発給数	122,000	124,000	132,000	150,000	
			達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	期間業務職員数		活動実績 (当初見込み)	人数	3	3	3 (3)	— (5)	
単位当たりコスト	1,679(千円/人)		算出根拠	事務補助員3名の人件費					
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求						
	人件費	9,633	10,064	23年度より、領事サービスセンター期間業務職員2名分に係わる予算を移管し、領事サービス室期間業務職員3名分と併せ5名分に変更。					
	計	9,633	10,064						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねる事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	22年度の政策評価において、「目標の達成にむけて進展があった。」との評価を得ており、外務本省並びに在外公館で実施している邦人への領事サービスの改善・強化に一定の進展がみられたものの、申請・届出手続きの一層の簡素化、邦人の利便性の向上が更なる課題となっている。また、今後とも、邦人の領事サービスに対するニーズの増加、多様化へ適切に対応すべく業務を合理化しながら取り組んでいく必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

【領事サービス改善関係経費】



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	事務補助員3名の雇い上げ	5.0			
	計		5	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	事務補助員A	証明及び戸籍国籍業務の事務補助	1.8		
2	事務補助員B	証明及び戸籍国籍業務の事務補助	1.7		
3	事務補助員C	証明及び戸籍国籍業務の事務補助	1.6		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					